

薬用作物の 国内生産拡大の取り組み

令和5年度 薬用作物産地支援栽培技術研修会

薬用作物産地支援協議会

日本漢方生薬製剤協会 生薬委員会 生薬国内生産検討班

漢方薬とは？

需要は？

漢方医学の流れ



- 「漢方医学」は、中国起源の医学を基に、日本で独自の発展を遂げた伝統医学。
- 中医学、韓医学は、起源は同じだが、異なった医学体系を形成している。
- 江戸中期に伝来したオランダ医学を「蘭方」と呼んだのに対して、従来の日本の伝統医学を「漢方」と呼ぶようになった。

2

薬用作物産地支援協議会

漢方薬の原料となる生薬

植物の花、葉、茎、根



樹木の樹皮、果皮



動物由来資源



鉱物由来資源



3

薬用作物産地支援協議会

生薬の品質を安定化するために・・・ 品質規格について

自社基準 自社規格

日本薬局方の規定以外の品質管理項目を含む、各社独自の品質規格/基準
・管理指標成分・基原の限定など

日本薬局方/日本薬局方外生薬規格

- ・生薬の基原種
- ・性状（外部および内部形態・色・味・臭い）
- ・確認試験 ・純度試験 ・乾燥減量 ・灰分
- ・酸不溶性灰分 ・エキス含量 など



4

薬用作物産地支援協議会

漢方・生薬製剤の一例

医療用医薬品

OTC医薬品

医療用漢方製剤
(主にエキス剤)



薬局製剤用生薬
医療用生薬

(煎じ薬)



一般用漢方製剤
(エキス・丸剤など)



民間薬



家伝薬



生薬配合製剤

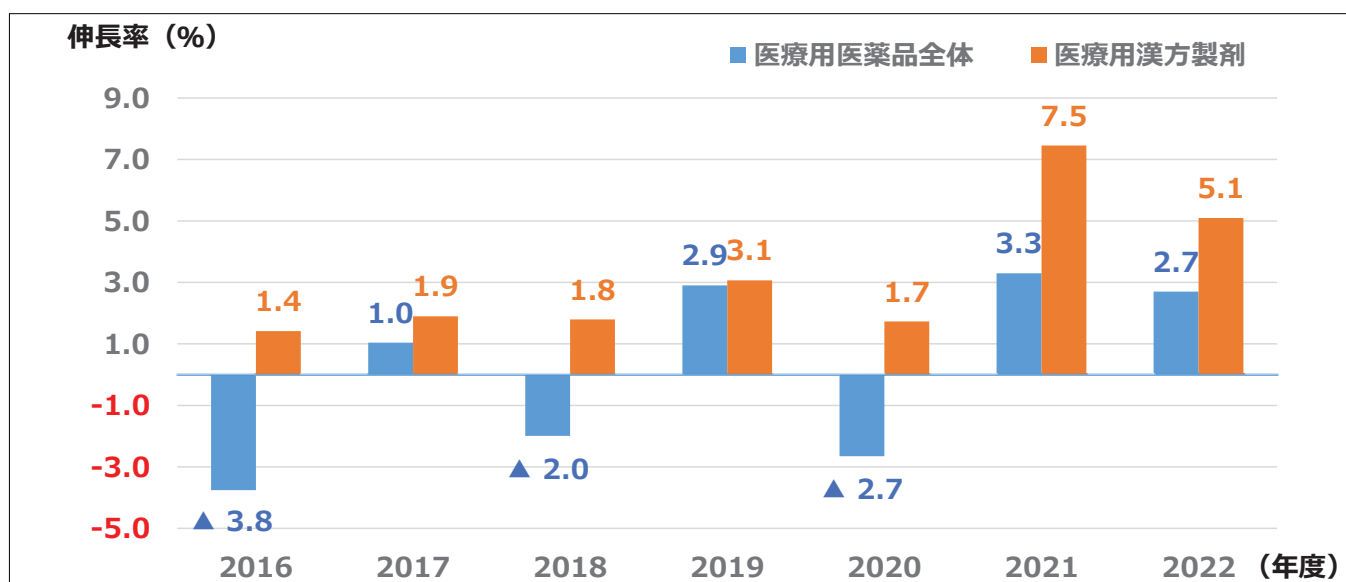


5

薬用作物産地支援協議会

医療用漢方製剤の需要と 漢方生薬製剤の原料の需要

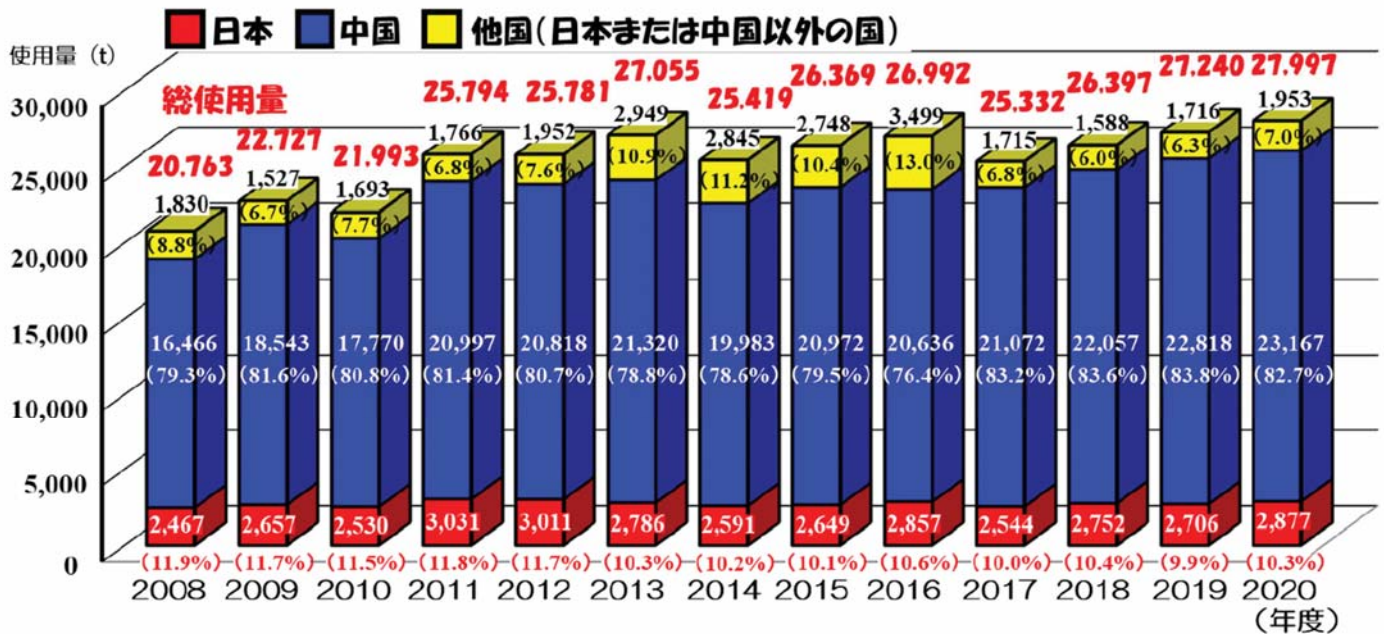
国内医療用医薬品市場と漢方市場の推移（売上ベース）



市場規模 (億円)	104,308	105,393	103,293	106,294	103,476	106,887	109,729
	1,481	1,509	1,536	1,583	1,610	1,730	1,819
漢方シェア (%)	1.4	1.4	1.5	1.5	1.6	1.6	1.7

Copyright © 2023IQVIA. 「JPM 2015年4月～2023年3月」をもとに独自に集計 無断転載禁止

原料生薬の使用量と生産国 (2008-2020年度)



「日本における原料生薬の使用量に関する調査報告(3)」生薬学雑誌77(1), 24-41(2023)

2008～2020年度 全使用量上位20品目

品目	全使用量(kg)	国内産使用量(kg)	国産比率
合計(生薬全体)	25,372,768	2,727,504	11%
1 カンゾウ(甘草)	1,620,117	15	0.001%
2 シャクヤク(芍薬)	1,480,265	42,660	3%
3 ブクリョウ(茯苓)	1,473,991	270	0.02%
4 センナジツ(センナ実)	1,187,954		
5 ケイヒ(桂皮)	1,046,739	55	0.005%
6 ハンゲ(半夏)	839,865		
7 タイソウ(大棗)	837,817		
8 トウキ(当帰)	828,010	191,929	23%
9 ソウジュツ(蒼朮)	815,640		
10 コウイ(膠飴)	805,720	805,720	100%
11 ニンジン(人参)	713,872	1,021	0.1%
12 マオウ(麻黄)	619,517		
13 サイコ(柴胡)	580,879	19,444	3%
14 センキュウ(川芎)	536,947	413,363	77%
15 カツコン(葛根)	510,632	27	0.01%
16 ヨクイニン(薏苡仁)	483,189	229	0.05%
17 タクシャ(沢瀉)	470,209		
18 ビャクジュツ(白朮)	469,388		
19 ショウキョウ(生姜)	466,446	380	0.1%
20 ジオウ(地黄)	431,687	2,452	1%

2008～2020年に
使用実績のある生薬は
305種類
※数字は13年間の平均

2008～2020年度 国内産生薬使用量 上位20品目

		国内産生薬使用量(kg)	国産比率
	合計(国内産の生薬全体)	2,727,504	11%
1	コウイ(膠飴)	805,720	100%
2	センキュウ(川芎)	413,363	77%
3	トウキ(当帰)	191,929	23%
4	クマザサ(熊笹葉・隈笹葉)	151,449	100%
5	チンピ(陳皮)	125,110	39%
6	コウボク(厚朴)	78,168	41%
7	ボウイ(防已)	75,593	64%
8	クロモジ(黒文字・ウショウ)	74,929	100%
9	コウベイ(粳米)	62,967	60%
10	サンショウ(山椒)	59,114	100%
11	ボレイ(牡蛎)	55,642	61%
12	ブシ(附子)	47,740	42%
13	モクツウ(木通)	46,571	96%
14	ボウショウ(芒硝)	46,355	90%
15	キジツ(枳実)	43,266	44%
16	シャクヤク(芍薬)	42,660	3%
17	アキョウ(阿膠)	42,479	91%
18	ダイオウ(大黄)	31,121	8%
19	オウギ(黄耆)	26,651	8%
20	ショウバク(小麦)	26,141	99%

2008～2020年に
国内産生薬の
使用実績のある生薬は
123種類

※数字は13年間の平均

10

薬用作物産地支援協議会

2015・18・21年度 国内産生薬調達量 上位品目

	生薬名	調達量(kg)		生薬名	会社数
1	センキュウ(川芎)	415,137	1	センキュウ(川芎)	13
2	トウキ(当帰)	223,868	2	サンショウ(山椒)	11
3	チンピ(陳皮)	119,075	3	トウキ(当帰)	11
4	サンショウ(山椒)	78,157	4	シャクヤク(芍薬)	10
5	ボウイ(防已)	62,088	5	コウベイ(粳米)	9
6	クロモジ(黒文字・ウショウ)	52,369	6	ガイヨウ(艾葉)	8
7	シャクヤク(芍薬)	43,382	7	インチンコウ(茵陳蒿)	6
8	コウベイ(粳米)	41,624		サイコ(柴胡)	6
9	オウギ(黄耆)	38,600		ショウバク(小麦)	6
10	ショウバク(小麦)	34,306		チクセツニンジン(竹節人參)	6
11	モクツウ(木通)	33,977		ドクカツ(独活)	6
12	コウボク(厚朴)	33,932	12	カノコソウ(吉草根)	5
13	キジツ(枳実)	31,968		チンピ(陳皮)	5
14	クマザサ(熊笹葉・隈笹葉)	27,362	14	キジツ(枳実)	4
15	ボクソク(撲楸)	22,084		サンヤク(山藥)	4
16	ソヨウ(蘇葉)	20,213		シャゼンソウ(車前草)	4
17	サイコ(柴胡)	17,252		ジュウヤク(十薬)	4
18	ブシ(附子)	16,343		センブリ(当薬)	4
19	アカメガシワ(赤芽櫛)	16,044		チャヨウ(茶葉)	4
20	バクガ(麦芽)	13,639		ナンテンジツ(南天実)	4
21	カノコソウ(吉草根)	13,636		ハトムギ(鳩麦)	4

2015・18・21年度に
調達実績のある品
目は89品目

※調達量の数字は
2015・18・21年度の
平均

※会社数は、重複
算入なし

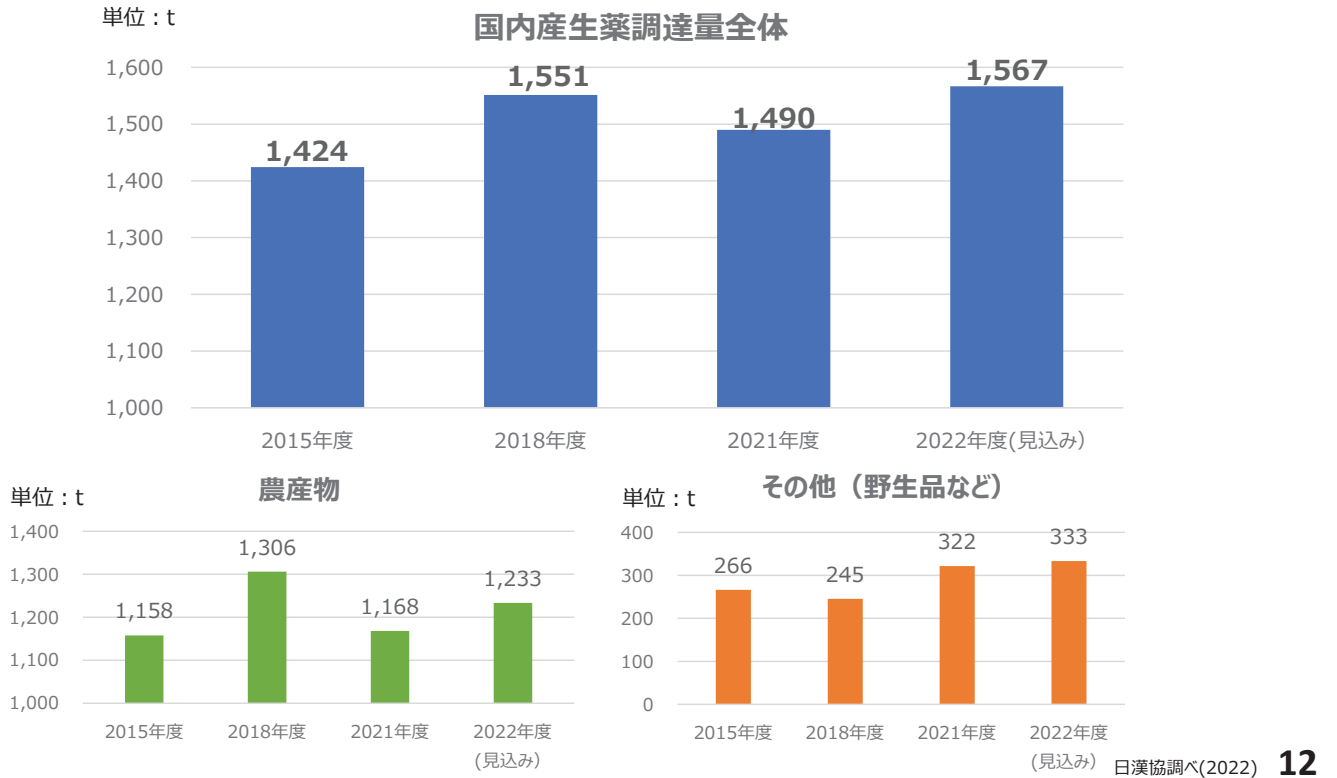
※調達量は、農産
物品目のみ抽出

11

薬用作物産地支援協議会

国内産生薬調達量推移

2015年度に比べ、2021年度は天候不順などの理由により一旦調達量が下がるが、2022年に回復傾向となっている。



薬用作物産地支援協議会

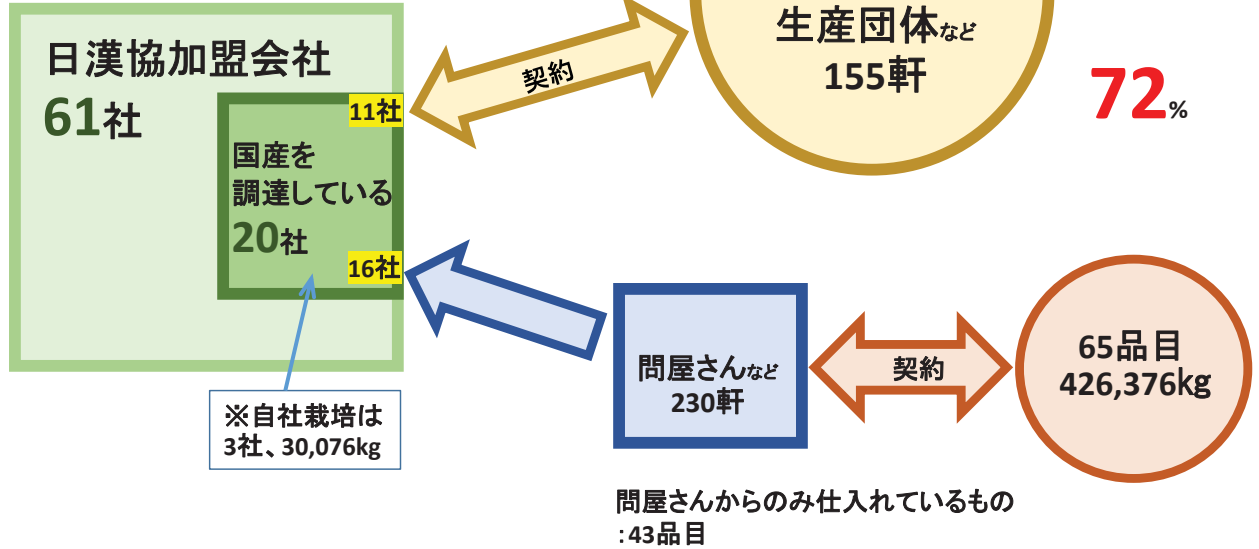
日本加盟会社の 生薬調達態様について

日本における生薬流通実態について

薬用作物の調達態様(2021年)

契約栽培のみで調達しているもの:15品目

(81品目 約1,500トン)



薬用作物には市場がなく、何らかの契約により生産が行われている

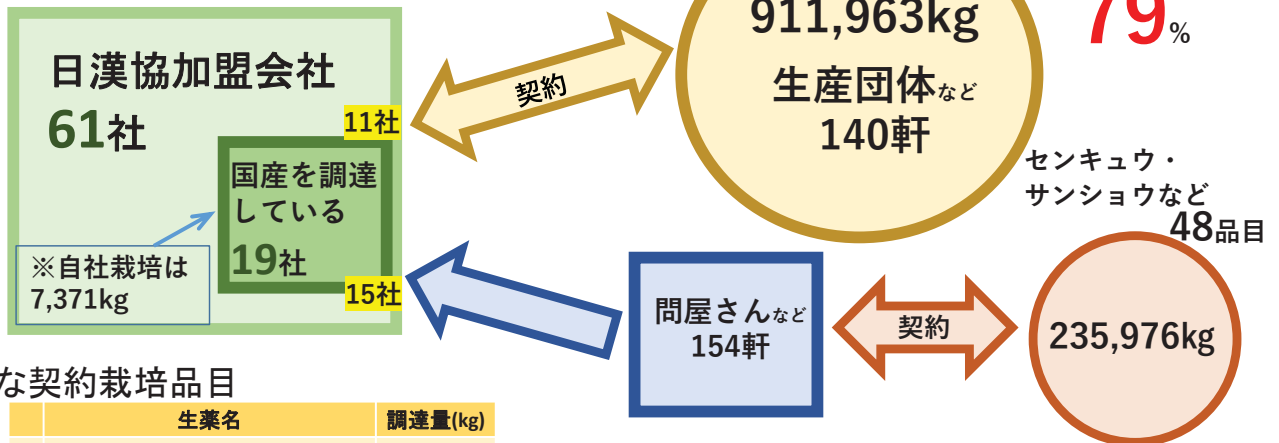
14

薬用作物産地支援協議会

薬用作物のうち農産物の調達態様(2021年)

(62品目約1,200トン)

センキュウ・トウキ・チンピなど32品目



主な契約栽培品目

	生薬名	調達量(kg)
1	センキュウ(川芎)	301,910
2	トウキ(当帰)	202,743
3	チンピ(陳皮)	146,529
4	オウギ(黄耆)	62,976
5	サンショウ(山椒)	42,629
6	キジツ(枳実)	34,975
7	シャクヤク(芍薬)	30,758
8	サイコ(柴胡)	13,321
9	ソヨウ(蘇葉)	12,958
10	ブシ(附子)	9,193
11	カノコソウ(吉草根)	8,959

主な問屋経由品目

	生薬名	数量(kg)
1	センキュウ(川芎)	29,064
2	サンショウ(山椒)	21,418
3	バクガ(麦芽)	19,904
4	ジュウヤク(十薬)	12,412
5	ガイヨウ(艾葉)	12,180
6	ピワヨウ(枇杷葉)	9,560
7	センブリ(当薬)	9,276

※コウベイ(粳米)、ショウバク(小麦)を除く

15

薬用作物産地支援協議会

国内薬用作物生産拡大の意義と これまでの取り組み

16

薬用作物産地支援協議会

国内での薬用作物生産拡大の意義

医薬品メーカー：

需要量の増加に対する原料調達リスクの軽減および国内自給率の向上
これまでの生産者様と取引関係を維持継続

農林水産省：

複合経営の一品目として経営の安定化や効率化に役立ち、
地域農業の振興を図るために必要な作物として重要な役割を果たしている
(薬用作物をめぐる事情より)

厚生労働省：

薬用作物・生薬調達先の複線化の推進による医薬品の安定供給

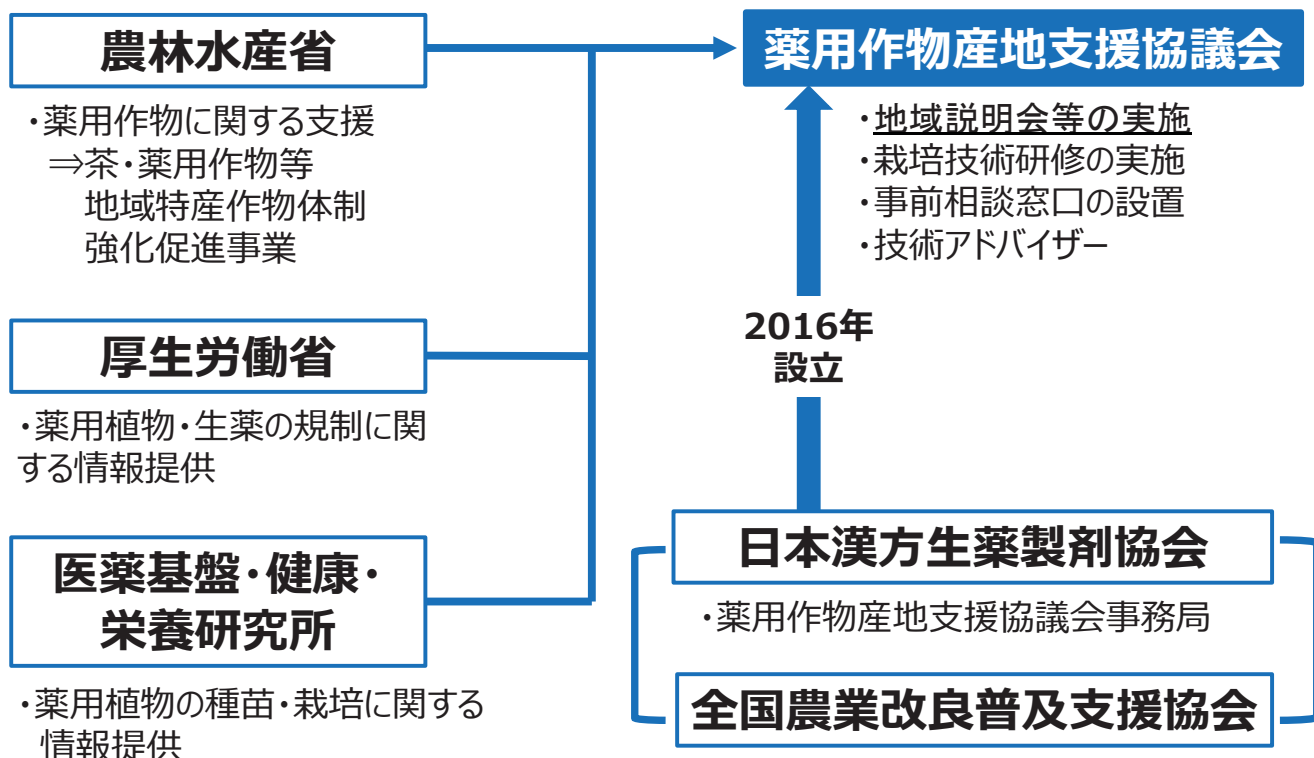


国内での薬用作物生産拡大継続は

必要不可欠 17

薬用作物産地支援協議会

茶・薬用作物等地域特産作物体制強化促進事業のスキーム



18

薬用作物産地支援協議会

マッチング概況

10年間のマッチング概況

2023年3月31日時点 日漢協調べ(2023)

年度⇒	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	合計
①折衝開始	45	36	15	12	8	1	2	7	9	1	136
②折衝不成立	40	33	14	12	6	1	0	5	2	0	113
③試作継続中	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	3
④取引開始	5	3	1	0	2	0	2	2	5	0	20
⑤取引継続中	3	3	1	0	1	0	2	0	5	0	15
⑥取引終了	2	0	0	0	1	0	0	2	0	0	5

- ①折衝開始：生産者と医薬品メーカーが具体的に話し合いを開始した件数
 ②折衝不成立：折衝開始①したが、取引開始または試作開始に至らなかった件数
 ③試作継続中：折衝開始①の後、試作に進み、2023年3月末時点で試作を継続中の件数（取引開始前）
 ④取引開始：折衝開始①の後、生産者が医薬品メーカーと売買契約を締結した件数
 ⑤取引継続中：上記④のうち、2023年3月末時点で取引継続中の件数
 ⑥取引終了：取引開始したがその後終了した件数（上記④のうち2023年3月末時点で取引終了済）

19

薬用作物産地支援協議会

不成立/取引終了との主な要因

②折衝不成立

- ◆価格(単価・反収)
- ◆生産者側の生産規模が小さい
- ◆気候・環境条件

⑥取引終了

- ◆価格(単価・反収)
- ◆生産量が少なすぎる(生産規模拡大ができない)
- ◆採算ベースに乗らず、意欲低下
- ◆行政担当者の変更
- ◆技術不足(研究データ不足)

20

薬用作物産地支援協議会

日漢協2030年調達計画について

21

薬用作物産地支援協議会



日本漢方生薬製剤協会HP 漢方の将来ビジョン2040 <https://www.nikkankyo.org/action/action5.htm>

22

薬用作物産地支援協議会

漢方の将来ビジョン2040 日本漢方生薬製剤協会

漢方の将来ビジョン2040

1. さらなるエビデンス集積と有用性の確立
2. 原料生薬の継続的安定確保と国産生薬生産量の拡大
3. 原料生薬から最終製剤までの品質管理の高度化と製品品質保証の体制強化および医療用漢方製剤等の安定供給
4. ガイドライン策定に向けた医療用漢方製剤の新剤形開発・効能拡大に関する研究の推進
5. 一般用漢方製剤および生薬製剤の開発推進と情報提供体制の強化
6. コンプライアンス遵守の体制強化と信頼性向上
7. 自然環境の保全・生薬資源の保護など地球環境や生物多様性へ配慮した事業活動の推進と漢方製剤等の国際展開の推進
8. 産官学連携強化とアウトリーチ活動の充実

23

薬用作物産地支援協議会

ビジョン2

原料生薬の継続的安定確保と国産生薬生産量の拡大

原料生薬の必要量の確保に努めます

10年後のあるべき姿	対処すべき課題	2021	2025	2026	2030
		2030年度までのロードマップ（ステップ1）			
<ul style="list-style-type: none"> 日中交流会の定期実施等により原料生薬の安定調達ができているほか、国内の気候・土壌に適した生薬の生産量が2015年比で約1.5倍になっている 	1 原料生薬の必要量確保 ▶原料生薬の継続した使用量等実態把握 ▶国産生薬の生産量拡大	原料生薬の必要量確保（原料生薬の栽培化の推進、産地複線化の情報共有、原料生薬の安定確保のための日中交流） 使用量等調査（2年に1度実施） 国産生薬の生産量拡大（2015年度比約1.5倍） 農林水産省の支援事業のもと、農業普及協会との共同事業を推進 ・国内栽培に向けた相談窓口事業 ・地域説明会、意見交換会の実施など 国産生薬の生産量等に関する調査・分析 国産生薬の生産量等に関する調査・分析 国産原料生薬の価格調査（必要に応じて調査）			
	2 原料生薬の栽培化の推進 ▶国産生薬の栽培化拡大 ▶優先品目の栽培化支援	原料生薬の栽培化の推進 野生品と栽培品の生産量等調査および栽培化候補品目検討 栽培化品目の提案と推進 生薬国内生産検討班による栽培化支援（トウキ・ミシマサイコ等）			
	3 原料生薬の安定確保のための日中交流 ▶中国医薬商會を軸とした日中協力関係の構築、維持、強化	毎年の交流会開催を通じた強固な協力関係の確立 相互利益をもたらすテーマを議論できる交流会の開催			

日漢協2030年調達計画

生薬名（調査対象のみ：50音順）	①調達量 実績調査			②調達量 見込・計画調査								備考
	2015年度 実績(kg)	2018年度 実績(kg)	2021年度 実績(kg)	2022年度 見込み(kg)	2023年度 計画(kg)	2024年度 計画(kg)	2025年度 計画(kg)	2026年度 計画(kg)	2027年度 計画(kg)	2028年度 計画(kg)	2029年度 計画(kg)	
1 アマチャ（甘茶）	1,705	1,479	1,120	1,451	1,150	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250
2 インチンコウ（茵陳蒿）	3,109	1,648	2,908	1,900	1,100	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250	1,250
3 ウコン（鬱金）	580	100	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
4 エイジツ（莖朮）			17									
5 エンメイソウ（延命草）	788	1,980	1,280	1,620	1,323	1,323	1,323	1,323	1,323	1,323	1,323	1,323
6 オウギ（黄耆）	30,960	21,865	62,976	53,637	62,000	69,000	74,000	82,000	87,000	91,000	91,000	91,000
7 オウレン（黄連）	1,265	679	827	723	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
8 オトギリソウ（弟切草）	170	96	349	329	294	294	294	294	294	294	294	294
9 ガイヨウ（艾葉）	11,163	11,552	13,875	19,708	12,532	12,532	12,532	12,532	12,532	12,532	12,532	12,532
10 カノコソウ（苦苣菜）	15,142	10,906	14,861	13,809	12,573	13,451	18,381	23,352	24,051	24,051	24,051	24,061
11 カンキョウ（乾姜）			2,296	1,119								
12 カンゾウ（甘草）		1,028	1,756	1,536								
13 キクカ（菊花）			5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
14 キジツ（枳朮）	23,825	34,587	37,492	40,557	40,177	42,177	44,177	46,177	47,177	48,177	48,177	48,177
15 クコヨウ（枸杞朮）	2,062	789	1,848	1,026	1,026	1,026	1,026	1,026	1,026	1,026	1,026	1,026
16 クロマメ（黑豆）	312	6,130	1,132	1,973	1,973	1,973	1,973	1,973	1,973	1,973	1,973	1,973
17 ゲンノショウコ	1,231	524	1,006	1,841	1,520	1,620	1,720	1,720	1,720	1,720	1,720	1,720
18 コウジン（紅参）	95	350		400	300	300	300	300	300	300	300	300
19 コウリョク（白芷）		3,520		1,186								
20 コウリョク（白芷）			9,856					2,500			2,500	
21 ブクホ（茯苓）	23,245		9,193		10,000	38,000		40,000	41,000	40,000	43,000	
22 ベニサササ	140	200	60	100	100	100	100	100	100	100	100	100
23 ポウフウ（防風）			276	257	350	350	350	350	350	350	350	350
24 ポタンピ（牡丹皮）			70									
25 マタタビ（モクテンリョウ・木天蓼）	20	220										
26 マンケイシ（蔓荆子）			90	56	110	110	110	110	110	110	110	110
27 モッコウ（木香）	8,055	3,346	3,790	2,228	10,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
28 ヤクモソウ（益母草）		2,346	1,978	2,148	2,300	2,260	2,260	2,260	2,260	2,260	2,260	2,260
29 レンセンソウ（遠志朮）	700	402	300	246	240	240	240	240	240	240	240	240
30 ワキョウカツ（和光活）	1,823	523	2,517	3,900	4,060	2,060	2,060	2,060	2,060	2,060	2,060	2,060
31 アカマツ朮（赤朮）※栽培品			7,286	6,502	6,502	6,502	6,502	6,502	6,502	6,502	6,502	6,502
32 品目未設定					各年度ごと、品目ごとの目標設定は今後立案予定（2030年に100トン達成）							100,000
33 合計	1,157,951	1,305,905	1,168,273	1,233,311	1,271,640	1,320,908	1,400,078	1,489,209	1,543,948	1,643,808	1,643,548	1,744,118
34 2015年との対比（倍）		1.13	1.01	1.07	1.10	1.14	1.21	1.29	1.33	1.42	1.42	1.51

重点品目の設定：8品目

品目	使用量 (kg)	調達量 (kg)	調達計画 (会社数)	契約栽培 (会社数)	事業として開始済の施策
	1トン以上	1トン以上	2社以上	2社以上	
1 センキュウ(川芎)	413,363	415,137	8	2	
2 トウキ(当帰)	191,929	223,868	7	4	
3 サンショウ(山椒)	59,114	78,157	9	2	
4 ブシ(附子)	47,740	16,343	2	2	
5 シャクヤク(芍薬)	42,660	43,382	9	5	種苗の増殖実証(長野・5ha相当分)2024年秋配布
6 サイコ(柴胡)	19,444	17,252	4	4	
7 カノコソウ(吉草根)	12,331	13,636	4	3	種苗の増殖実証(長野・50a相当分)2023年秋配布
8 ガイヨウ(艾葉)	8,913	12,197	7	2	

農地で栽培されている品目のうち、国内産の使用量、調達量が多いもの。
 複数の会社が国内産の調達および契約栽培を行っている品目
 ※2社以上が契約栽培を行っている品目はこの8品目しかない。

【新たな作物又は品種の現地適応性試験】

現地適応性試験ほ場（重点品目の種苗増殖実証）

カノコソウ・シャクヤクについて実施中

品目	面積	2022			2023												2024																							
		10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12												
カノコソウ (長野県安曇野市)	13a	○							(発芽)				(摘花)				○				33,000本												○				15万本			
シャクヤク (長野県安曇野市)	18a	○							(発芽)												(発芽)												○				収穫・配布			

・より実践的な形で種苗増殖の圃場を運営し、増殖効率・生育状況・作業効率を調査する。
 (芍薬18a、カノコソウ13a)

・実証ほ場運営の結果、生産物として種苗が生産されるため、それを全国の希望者に配布する(試作程度の量)。

・種苗増殖の実証のための事業であり、試作する方への細かな栽培指導は出来ないが、栽培方法については「地域説明会」「動画(Youtube)」などで紹介する。

現地適応性試験圃場の状態

2023年実施：長野県安曇野市 安曇野みらい農園

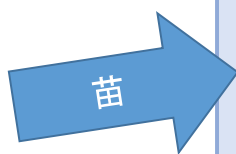


カノコソウは2023年10月に収穫、データ収集を行い、生産物(=苗)を配布する。
シャクヤクは2024年10月に収穫～配布。

28

薬用作物産地支援協議会

カノコソウの種苗配布について



苗



分割して定植
します。
これが翌年の
畑になります。



製品

加工調整
株の処理・洗浄・乾燥

洗浄して乾燥
すると、製品
になります。



カノコソウは製品にする部位、苗にする部位が
同じです。

苗の配布～定植までの流れ



29

薬用作物産地支援協議会

カノコソウを作ってみませんか

薬用作物産地支援協議会

お問い合わせ よくあるご質問 アクセス

相談窓口 ☎ 03-6264-8087
お問い合わせフォームをご利用ください

ホーム イベント 作ってみませんか 産地化事例 マッチング支援 技術アドバイザー 分析調査 調べる

ホーム >> 作ってみませんか >> カノコソウを作ってみませんか?

カノコソウを作ってみませんか?

～試作栽培・生産者募集～

カノコソウはオミナエシ科の一年草で、冷涼地での栽培が適しています。根と根茎は生薬吉草根（キツソウコン）として用いられ、鎮静作用や睡眠の改善作用のほか、身体をリラックスさせる効果があるといわれています。現在、国内での使用量は年間約20トンで、その約半分が国内産です。日漢協ではこのカノコソウを重点品目の一つとして選定し、生産希望者を募りつつ漢方薬メーカーとのマッチングを進めています。

カノコソウがどんな作物か、試しに作ってみたいという方に、少量の苗を無償提供します（送料は応募者でご負担いただきます）。

2023年8月2日開催「重点品目説明会」でカノコソウを取り上げます
説明会へのご参加は [こちら](#) からぜひお申し込みください

2023年度応募フォーム

下記の応募条件等をご一読のうえ、ご応募ください



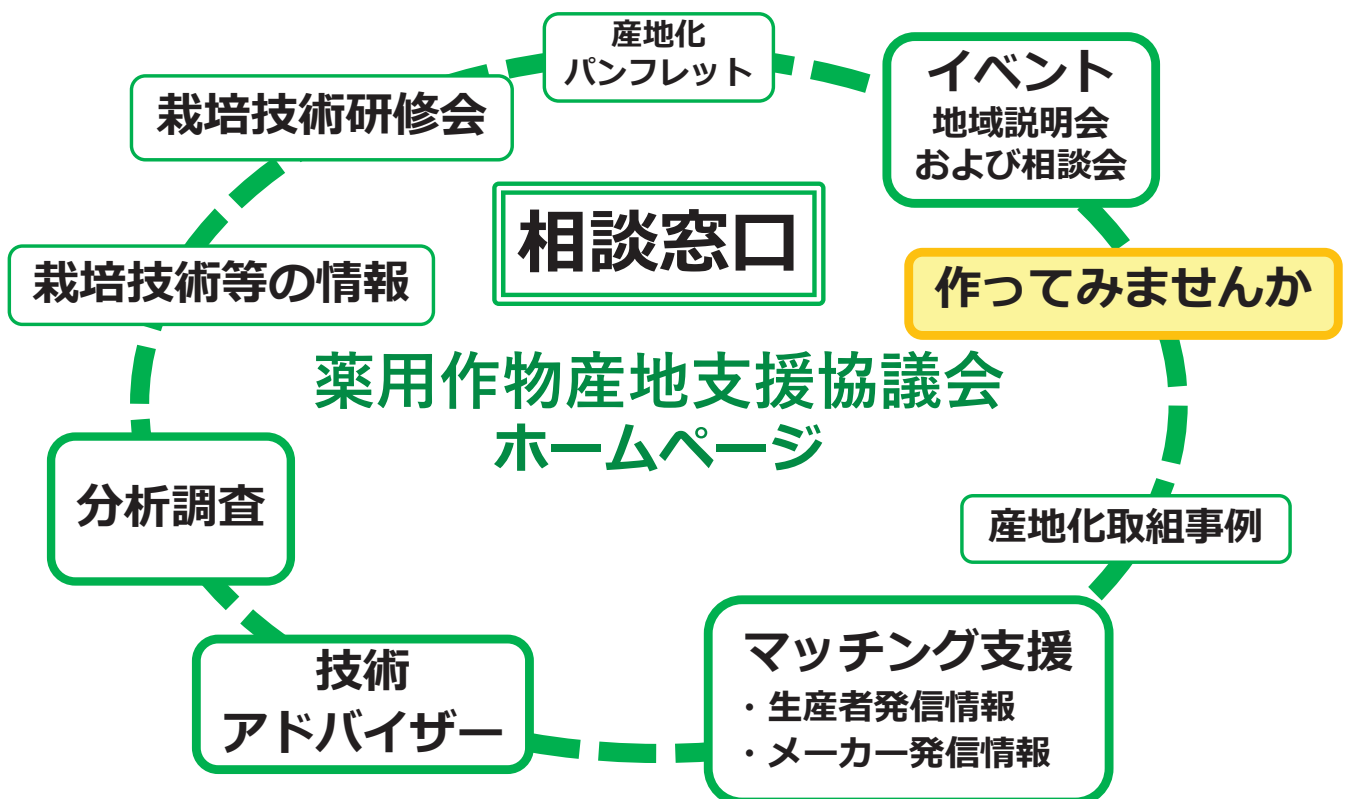
カノコソウ基本データ：

生薬名「吉草根」（キツソウコン）
2020年度使用量 18,732kg（うち47%にあたる8,904kgが国内産）※2022年日漢協調べ
2021年度国内調達量 14,861kg（国内で18番目に調達が多い生薬）※2022年日漢協調べ
主な栽培地 北海道・岩手県・奈良県など ※2021年日本特産農産物協会調べ

30

薬用作物産地支援協議会

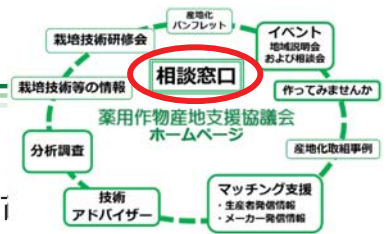
薬用作物に関する情報を集めたホームページ



31

薬用作物産地支援協議会

相談窓口



産地化を希望する生産者等からの相談・質問に対応する。
お問い合わせフォームのほか、メール、電話、FAXにて対応

お問い合わせ よくあるご質問 アクセス

薬用作物産地支援協議会

相談窓口 ☎ 03-6264-8087
お問い合わせフォームをご利用ください

ホーム | 組織概要 | イベント情報 | 産地化事例 | 売買支援 | 技術アドバイザー | 分析調査 | 調べる

ホーム >> お問い合わせ

生薬（薬用作物）の取り組み等に関するご相談

お問い合わせフォーム

よくあるご質問

薬用作物関係機関 連絡先

E-mail又はFAXでも受け付けています
☎ 03-6284-2534
✉ soudan@yakusankyo-n.org

用紙のダウンロード

Excel形式 PDF形式

現在、当協議会では新型コロナウイルスの感染拡大防止対策として、交代で在宅勤務（リモートワーク）を実施しています。
お問い合わせ等につきましては、可能な限り【お問い合わせフォーム】をご利用ください
ますよう、お願いいたします。

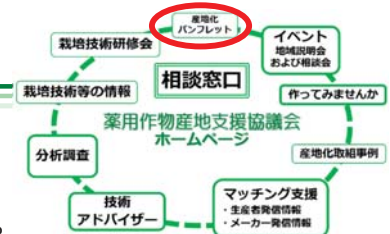
生薬（薬用作物）の取り組み等に関するご相談は、お問い合わせフォームから必要事項を入力し、送信してください。
・TEL (03-6264-8087) ・FAX (03-6284-2534)
こちらからのお問い合わせも受付しております。
FAXの場合は、用紙をダウンロードの上お問い合わせ項目をご記入いただき、送信してください。

- ・お返事を差し上げるまでにお時間がかかる場合があります。
- ・お問い合わせの内容によってはお答えできない場合もありますことをご了承頂きます。
- ・個人情報は日漢協プライバシーポリシーに従い適切に管理いたします。

現在、多数のお問い合わせを頂戴しております。
ご相談には順次対応しておりますが、ご回答を差し上げるまでに若干のお時間を頂戴しております。
何卒ご了承のほど、宜しくお願い申し上げます。

連絡先：薬用作物産地支援協議会 日漢協事務局
担当 飯田
Tel : 03-6264-8087
Email:soudan@yakusankyo-n.org

産地化パンフレット



対象：新規に薬用作物を取り組むことを検討している生産者。

内容：薬用作物に取り組む上での、注意すべき点や情報収集の方法について一般的な流れを紹介する。

1 なぜ薬用作物に取組むといいのか？

薬用作物の産地化を促すメリットをお伝えします。

【産薬】の原料となる「生薬」のうち、国産生薬で栽培されるものを「薬用作物」と呼びます。これらを利用する薬材・生薬は、生薬全体の約20%を占め、過去5年間で約21.3%増加しており、需要が伸びています。

また、医薬品原料として使用される生薬の割合は、中国産が全体の約77%、国産は11%です。中国産生薬の産地化と国産化にあることから、国内の薬用作物生産の需要が高まっています。

安定した収入源になるほか、地域活性化などの効果も

生薬は市場が安定しないため、生薬物については、産薬メーカー（産薬商）に安く買いつけるという取引体制が一般的です。産薬物栽培、加工などを行うことで、産薬物を生産するだけでなく、産薬物の販売・加工も行うことで、産薬物の販売・加工の両方から収入を得ることができ、収入が安定する可能性があります。

また、国産の生薬物に代わって薬用作物を栽培することで、産薬物や地域活性化といった効果も期待できます。産薬物の販売・加工の両方から収入を得ることができ、収入が安定する可能性があります。

3 新規で薬用作物を始めよう

新規で薬用作物の産地化に取り組む場合、次のような流れになります。

STEP 1 生産者同士で組織化する

産地化に取り組むには、産薬メーカーや産薬商、産薬物栽培者、産薬物の販売・加工業者など、関係者との連携が重要です。産薬物の産地化を進めるためには、産薬物の産地化を進めるための組織を構築することが重要です。

STEP 2 地方行政機関に相談

産薬物の産地化を進めるためには、地方行政機関との連携が重要です。産薬物の産地化を進めるためには、地方行政機関との連携が重要です。

STEP 3 産地・産薬メーカーを選定する

産薬物の産地化を進めるためには、産薬物の産地化を進めるための産地・産薬メーカーを選定することが重要です。産薬物の産地化を進めるためには、産薬物の産地化を進めるための産地・産薬メーカーを選定することが重要です。

4 薬用作物のあるある

産薬物とは？

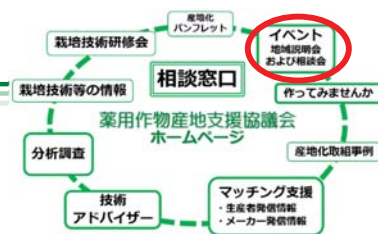
① 一般作物と薬用作物の違いは？

② 生産する目的の違いは？

③ 産地化で栽培できる？

地域説明会および相談会

産地化を目指す地域(関係者)と実需者との情報の交換・共有を図るための説明会



2023年8月2日 薬用作物 重点品目説明会(カノコソウ)および相談会

- ・薬産協 取り組み説明
- ・カノコソウ栽培の実際
- ・質疑応答

2023年9月5日 薬用作物の産地化に向けた地域説明会および相談会

- ・薬用作物の産地化までの道のり 【日本漢方生薬製剤協会】
- ・薬用作物を対象とした補助事業等について 【農林水産省】
- ・漢方製剤の現状等について(薬局方、薬価、医薬品原料、食薬区分等) 【厚生労働省】
- ・薬用植物資源研究センターからの資源情報提供 【医薬健栄研・薬用植物資源研究センター】
- ・国内生薬の栽培現場を取り巻く環境について 【地域特産物マイスター】
- ・質疑応答

2023年12月5・6日 [栽培技術研修会 合同開催]

薬用作物 重点品目説明会(カノコソウ・シャクヤク)および相談会

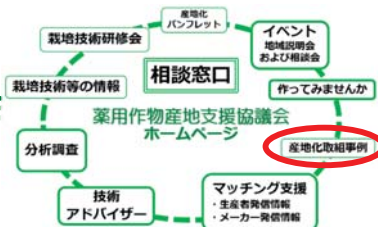
1日目:現地研修 13:00~16:00(現地参加のみ可)

2日目:薬用作物に係る説明会

- ・薬産協 取り組み説明
- ・カノコソウ栽培の実際
- ・シャクヤク栽培の実際
- ・質疑応答
- ・情報交換会

産地化取組事例

実際に産地化に成功している、または成功に向けて取り組んでいる生産団体の様子・経緯を事例紹介としてまとめている。



産地化取組事例紹介

過去の地域説明会におきまして、薬用作物の産地化に取組まれている生産団体の事例を知りたい、との要望が多く寄せられました。平成30年度よりその声にお応えし、地域説明会におきまして各地域での産地化取組事例を紹介しております。その内容を掲載いたします。ぜひご参照ください。

令和4年度 事例紹介

事例先	説明会開催地	内容
信州人蔘産地の取組み/JA住久渡信州人蔘部会 《長野県》	東北(福島県)	事例を見る
オタネニンジン生産～福島県～/湧水薬草有限会社 《福島県》	東北(福島県)	事例を見る
農薬×観光×販売 ボタンと雲州人蔘の農業歴史継承と今後の農業ビジネス/由志園アグリファーム株式会社 《島根県》	東北(福島県)	事例を見る
長野県における薬草の産地化への取組み状況について/長野県農政部 薬草生産課 野菜・特産係 《長野県》	関東・北陸(長野県)	事例を見る
採取農薬でノウフクの取組み/認定特定非営利活動法人UNE 《新潟県》	関東・北陸(長野県)	事例を見る
三重県鈴鹿地域における薬用作物の取組/三重県農業研究所 花種木研究課 《三重県》	近畿(奈良県)	事例を見る
宇陀市薬草協議会の役割と大和当帰の栽培事例/宇陀市薬草協議会 《奈良県》	近畿(奈良県)	事例を見る
佐藤薬品工業の取組み/佐藤薬品工業株式会社 和漢薬研究所 《奈良県》	近畿(奈良県)	事例を見る

マッチング支援

生産団体様と実需者（漢方薬メーカー）とのマッチングの場

マッチング支援
 薬用作物は「市場」が存在せず、生産者と漢方薬メーカー（実需者）との間で「全量契約」する場合があります。そのため本サイトではメーカーと生産団体様のマッチング支援を行うことを目的とします。

マッチング支援の流れ

【生産者発信情報】登録申込フォームはこちら

【生産者発信情報】
 ・販売を希望する薬用作物がある方
 ・薬用作物生産を計画している方
※計画が具体的でない場合はまず相談窓口にお問い合わせください。

【メーカー発信情報】（準備中）
 ・メーカーが購入を希望する薬用作物
 ・メーカーが新規生産地創出を希望する品目と条件

生産団体様向け・マッチング支援ご利用方法
 生産団体様には、次の2つの方法でご利用いただけます。

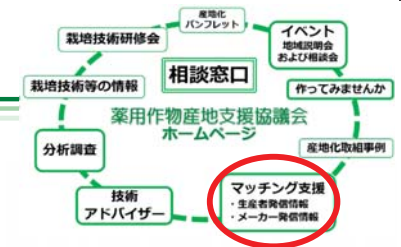
(1) 「生産者発信情報」に登録する
 → 情報登録フォームに必要事項をご記入の上、送信してください。当協議会で審査後、ホームページに掲載いたします。

(2) 「メーカー発信情報」を閲覧し、マッチングを申請する
 「メーカー発信情報」には、（メーカーが購入を希望する薬用作物の情報）を提示していますので、ご覧ください。興味のある掲載情報があれば選択して、所定のフォームに入力の上、送信してください。

メーカー向け・マッチング支援ご利用方法
 メーカーには、次の方法でご利用いただけます。日漢協会会員社以外でも応募できます。

(1) 「メーカー発信情報」に登録する
 → 登録ご希望の場合は、当協議会事務局までメールにてお問い合わせください。
 ✉ soudan@yakusan-kyo-n.org
（件名「メーカー発信情報掲載希望」でお問い合わせ）

(2) 「生産者発信情報」を閲覧し、マッチングを申請する
 → 「生産者発信情報」には、（生産団体様が販売または今後生産を希望する薬用作物の情報）を提示していますので、ご覧ください。興味のある掲載情報があれば選択して、所定のフォームに入力の上、送信してください。



国内において薬用作物には市場が無い。そこで、医薬品メーカーと生産団体様との売買成立を支援する。

マッチング支援では次のような情報をご利用いただけます。
 ・生産団体様が販売を希望する薬用作物の情報
 ・メーカーが購入を希望する薬用作物の情報

マッチング支援（生産者発信情報）

生産団体様が販売を希望する生薬の情報を掲載。

生産者発信情報

ご利用の流れ（生産者向け）
 このページの下部にある「[【生産者発信情報】登録申込フォーム](#)」にて登録希望をお送りください。当協議会で審査後、ホームページに掲載いたします。

ご利用の流れ（メーカー向け）

- 「生産者発信情報一覧はこちら」をクリックして掲載案件一覧をご覧ください。購入を希望する掲載情報から「取引を希望する」をクリックしてください。
- 入力フォームに必要事項を入力の上送信してください。
- 事務局では毎月2回（15日と末日）を締め日とし、応募を取りまとめます。
 ○事務局から応募したメーカーへ、当該案件の【生産者様の連絡先】をお知らせします。
 ○事務局から生産者様へは、応募した【メーカーの会社名】をお知らせし、2週間以内に連絡がある旨をご案内します。
- メーカーと生産者様とで直接交渉をおこなっていただきます。
 ○交渉開始となったメーカーには、毎年度末に進捗状況をご報告いたします。
- 交渉がまとまった場合、売買・試作栽培等の契約の成立となります。

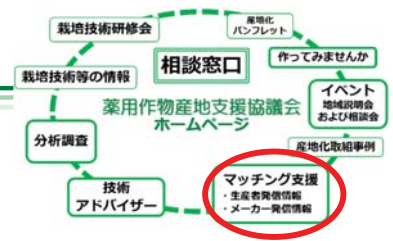
医薬品メーカー側は情報を閲覧し、取引希望の場合には連絡を入れる。
 ※生産団体様は、
 ①今年度納品可能（50kg以上）
 ②今年度納品可能（50kg未満）
 ③今後薬用作物の生産を希望の3種類から選んで応募できる。

【生産者発信情報】登録申込フォーム
 栽培状況によって登録申込フォームが異なりますので、①、②、③のいずれが該当するものを選んでお申し込みください。

- ①今年度納品可能（乾燥重量【50kg以上】提供可能）の方ははこちら
 ①申込書 (Excel) ②申込書 (PDF)
- ②今年度納品可能（乾燥重量【50kg未満】提供可能）の方ははこちら
 ①申込書 (Excel) ②申込書 (PDF)
- ③今後薬用作物の生産をお考えの方ははこちら
 ①申込書 (Excel) ②申込書 (PDF)

マッチング支援（メーカー発信情報）

医薬品メーカー側の取引希望条件を掲載する。（生薬品目毎）合致する場合には、生産概況をフォームに記入し、お申込みを。



1) 生産物の購入希望（今年度中の納入を希望）

品名等（仮称品名）	産地	状況
231-459-001	インゴウカク	依頼中
231-440-006	オブレシ	依頼中
231-440-003	カンゴソウ(ウ)	依頼中
231-450-002	カンゴソウ(ウ)	依頼中
231-445-002	サンショウ(ウ)	依頼中
231-450-003	サンショウ(ウ)	依頼中
231-450-003	シソウ	依頼中
231-450-003	セネホ	依頼中
231-440-002	ゴトウ	依頼中
231-440-004	オコイ	依頼中
231-450-002	ボウフウ	依頼中
231-445-003	ミンマサイコ	依頼中
231-440-005	モクソウ	依頼中
231-440-003	モクソウ	依頼中

2) 生産物の購入希望（来年度以降の納入を希望・技術指導なし）

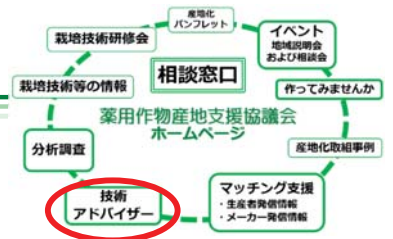
品名等（仮称品名）	産地	状況
232-459-001	インゴウカク	依頼中
232-440-001	カンゴソウ(ウ)	依頼中
232-450-002	カンゴソウ(ウ)	依頼中
232-450-003	シソウ	依頼中
232-450-001	セネホ	依頼中
232-450-002	ボウフウ	依頼中
232-445-001	ミンマサイコ	依頼中

3) 新規生産地づくり

品名等（仮称品名）	産地	状況
233-440-001	カンゴソウ	依頼中

技術アドバイザー

栽培や加工調製段階におけるお困りごとを解決するために専門技術指導者を現地圃に派遣し、アドバイスを行う。基本的に無償。売り先（取引先）の紹介は不可。



お問い合わせ よくあるご質問 アクセス

相談窓口 ☎ 03-6264-8087
お問い合わせフォームをご利用ください

| ホーム | イベント | 作ってみませんか | 産地化事例 | マッチング支援 | **技術アドバイザー** | 分析調査 | 調べる

ホーム >> 技術アドバイザー

技術アドバイザー

本事業は、現在、医薬品の原料生薬となる薬用作物の栽培化に取り組みられている生産団体様に対して、薬用作物の専門技術指導者を派遣して、栽培や加工調製段階におけるお困りごとを解決するためにお手低い（アドバイス）をさせていただきます。

2023（令和5）年度の申込受付中

技術アドバイザー派遣の流れ


 フォームから連絡


 スケジュール調整


 ご連絡

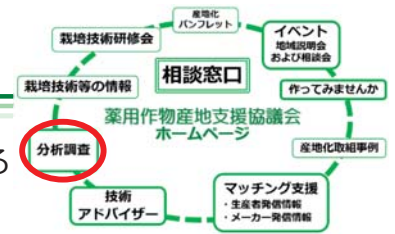

 アドバイザー派遣

技術アドバイザー派遣申込フォーム

E-mail又はFAXでも受け付けています
☎ 03-6284-2534
✉ soudan@yakusankyo-n.org
Excel形式 PDF形式

技術アドバイザー紹介

分析調査



生産者様においては、試作生産物が日本薬局方の要件をクリアしているかを確認することができる。

※ご希望を全てお受けできる訳ではございません

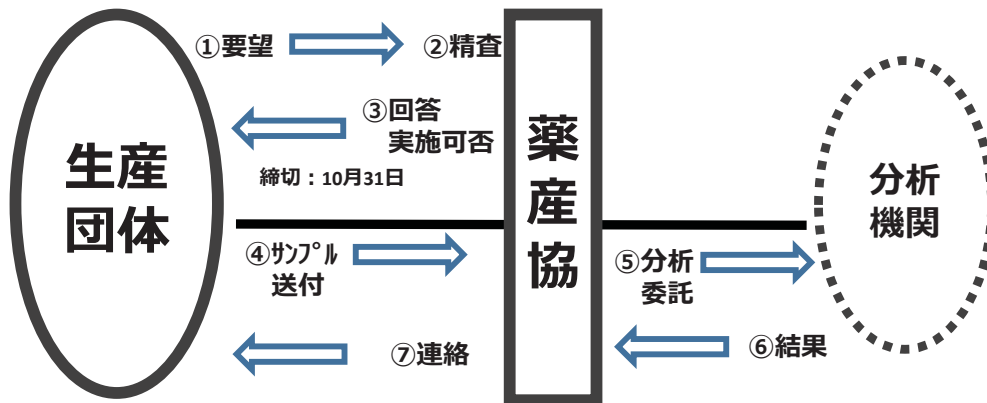
対象品目：漢方・生薬製剤の原料となる、「日本薬局方収載品目」および「局外生薬規格」の範囲
日本国内で生産された薬用作物に限ります

対象者：法人・農協の部会・農業者で組織する団体等 ※個人での応募は対象外

当協議会は、試作品がどのような生産物となるのかを調査し、今後の支援対策に活用いたします。

ホームページで応募受付中

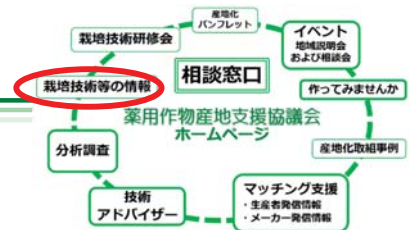
令和5年度は、10月31日締め切り！！



40

薬用作物産地支援協議会

情報提供



薬用作物産地支援協議会

お問い合わせ よくあるご質問 アクセス

相談窓口 ☎ 03-6264-8087
お問い合わせフォームをご利用ください

ホーム | 組織概要 | イベント情報 | 産地化事例 | 売買支援 | 技術アドバイザー | 分析調査 | 調べる

ホーム >> 調べる

調べる

生薬について

- 薬用作物名生薬名対比表
- 生薬（薬用作物）についての概略

生薬の規格（日本薬局方で規定される内容）

- 厚生労働省「日本薬局方」ホームページ（外部リンク）
- 国立医薬品食品衛生研究所「日本薬局方と関連情報」（外部リンク）
- 厚生労働省「日本薬局方外生薬規格2018」（外部リンク）

日薬協が使用する生薬の取引状況

- 日本漢方生薬製剤協会会員会社が使用している植物性生薬一覧表(使用量順)
- 日中生薬価格調査結果(日本実績あり)
- 日中生薬価格調査結果(日本実績なし)

農林水産省関連

- 農林水産省補助事業で作成された各地域での栽培マニュアル
- 農林水産省補助事業による農業機械等の改良事例(26年～29年)
- 薬用作物の産地化事例集（平成31年2月）（外部リンク）
- 農林水産省主催 薬用作物（生薬）の産地化に向けたシンポジウム 資料（外部リンク）

情報提供

- ・活用できる国の支援策、収入保険制度等
- ・日本薬局方、食薬区分、薬価等
- ・薬用植物資源の確保、栽培技術の確立研究等

薬用作物産地支援

検索



41

薬用作物産地支援協議会

内閣官房の新しい資本主義実現会議より 成長戦略等のフォローアップが閣議決定されました。

成長戦略等のフォローアップ

令和5年6月16日

目次

趣旨	1
I. 「人への投資・構造的賃上げと三位一体の労働市場改革の指針」関連のフォローアップ	1
II. 「GX・DX等への投資」関連のフォローアップ	2
1. 「GX」関連	2
2. 「DX」関連	3
3. 「科学技術・イノベーション」関連	5
III. 「社会的課題を解決する経済社会システムの構築」関連のフォローアップ	9
IV. 「経済社会の多極化」関連のフォローアップ	10
1. 「デジタル田園都市国家構想の推進」関連	10
2. 「企業の海外ビジネス投資の促進」関連	15
V. 「日本の魅力を活かしたインバウンドの促進」関連のフォローアップ	17
VI. 「個別分野の取組」関連のフォローアップ	20
1. 「宇宙」関連	20
2. 「海洋」関連	20
3. 「対外経済連携の促進」関連	21

関連事項
掲載項目

42

薬用作物産地支援協議会

内閣官房 成長戦略等のフォローアップ[°] (令和5年6月16日閣議決定)

II. 「GX・DX等への投資」関連のフォローアップ[°]

3. 「科学技術・イノベーション」関連

(4) 再生・細胞医療・遺伝子治療等 (医療・医薬品) P7

・漢方について、生薬の国内生産を支援するとともに、国内産業の競争力強化に資する国際標準化を**着実に**進める。

昨年同様の記載ですが、「着実に」が新たに追記されています

43

薬用作物産地支援協議会



ご清聴ありがとうございました

薬用作物産地支援協議会